

# 業務請負契約書(案)

印紙

1. 業 務 名 林道測量設計業務（里美西ノ岳1106林道外5）

2. 業 務 場 所 長崎県佐世保市外

3. 履 行 期 間 契約締結日の翌日 から  
平成25年11月29日 まで

4. 請 負 金 額 ￥.-

（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ￥.- ）

5. 契約保証金額 ￥.-

6. 前 払 金 請負代金額の10分の3以内

7. 調 停 人 選任しないこととする。

8. 選 択 事 項 別冊約款中選択される条項は次のとおりであるが、そのうち適用されるものは（○印）、消除されるものは（×印）である。

| 適用消除の区分   | 選 択 事 項                      | 選 択 条 項   |
|-----------|------------------------------|-----------|
| 業者の選択による。 | 契約保証金の納付                     | 第4条第1項第1号 |
|           | 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供       | 第4条第1項第2号 |
|           | 銀行、発注者が確実と認める金融機関又は保証事業会社の保証 | 第4条第1項第3号 |
|           | 公共工事履行保証証券による保証              | 第4条第1項第4号 |
|           | 履行保証保険契約の締結                  | 第4条第1項第5号 |
| ○         | 前金払                          | 第34条～第36条 |
| ×         | 部分引渡し                        | 第37条      |
| ×         | 調停人の選任                       | 第50条      |

## 9. 特約事項

上記の業務について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び平成25年8月8日に交付した国有林野事業業務請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、受注者が設計共同体を結成している場合には、受注者は、別紙、設計共同体協定書により契約書記載の業務を共同連帯して実施する。

本契約の証として本書 2 通を作成し、発注者及び受注者が記名押印のうえ各自 1 通を保有する。

平成 年 月 日

発 注 者 （住所） 熊本県熊本市西区京町本丁2番7号

（氏名） 支出負担行為担当官  
九州森林管理局長 川端 省三

受 注 者 （住所）

（氏名）

「注」受注者が設計共同体を結成している場合においては、受注者の住所及び氏名の欄には、設計共同体の名称及び設計共同体の代表者並びにその他の構成員の住所及び氏名を記入する。

請 負 数 量 内 訳 書

| 署 名 | 林 道 名       | 規 格        | 数 量    | 単 位 | 所 在 地    | 備 考          |
|-----|-------------|------------|--------|-----|----------|--------------|
| 長崎  | 里美西ノ岳1106林道 | 幅員<br>3.5m | 1.600  | km  | 佐世保市世知原町 | 作業道跡地<br>保安林 |
| 長崎  | 久良原林道       | 幅員<br>3.5m | 1.000  | km  | 大村市      | 保安林          |
| 長崎  | 千々石林道       | 幅員<br>3.5m | 0.650  | km  | 雲仙市千々石町  | 作業道跡地<br>保安林 |
| 長崎  | 千々石林道       | 幅員<br>3.5m | 0.850  | km  | 雲仙市千々石町  | 保安林          |
| 佐賀  | 岩藏清水山77林道   | 幅員<br>3.5m | 2.965  | km  | 小城市小城町   | 作業道跡地<br>保安林 |
| 佐賀  | 日南郷1036林道   | 幅員<br>3.5m | 1.500  | km  | 伊万里市山城町  | 作業道跡地<br>保安林 |
| 佐賀  | 大野原1083林道   | 幅員<br>3.5m | 1.890  | km  | 嬉野市嬉野町   | 作業道跡地<br>保安林 |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
|     |             |            |        |     |          |              |
| 合 計 |             |            | 10.455 | km  |          |              |

## 林道測量設計仕様書

### 総 則

#### 第1条 適用範囲

1. 林道設計にあたっては、法令及び林道規程並びに林道設計基準に定めるもののほか、この設計仕様書によらなければならない。
2. この仕様書に示されていない事項は担当員の指示による。
3. 調査設計にあたっては、当局で定めた様式算定方法をもってこれを作成し、単位については別表によるものとする。

### 測量外業仕様書

#### 第2条 機械器具

機械器具は、度量衡器械検定の合格品を使用し、常に校正して使用するものとする。

#### 第3条 IP杭及び測点杭

IP杭は、4×4cm長さ50cm程度の朱のプラスチック杭等を使用する。また、測点杭は、4×3cm長さ50cm以上のものを使用し、頭部には白のペンキを塗布し見やすくするものとする。

#### 第4条 踏 査

実測に先立ち予定地附近一帯の現地を踏査し、地形、地質、河川、溪流の状況、架橋地点、崩壊地、地すべり地、農耕地、水路、土地所有者関係等を調べ主要経過地を現地で確定しなければならない。

#### 第5条 予 測

踏査により現地の路線がほぼ定まれば、20m～50mの適宜の間隔に路線の通過する地点に「ハンドレベル」を使用して、予測勾配示標杭を打ち、施工基面を仮定し、その大略の路線状況を明らかにして、必要に応じ担当員の点検を受けなければならない。

#### 第6条 選 点

予測の勾配示標杭を基にして、縦断・横断・流用土量・構造物等を考慮し最も経済的なIP点を定めなければならない。

#### 第7条 中心測量

1. 中心測量は、B. PからのNO杭とし20mごとのチエン杭、プラス杭、カーブ杭を打込み、測角には「トランシット」を用い、読みは1分以内とする。地形の変化点及び構造物、曲線等必要な箇所にプラス杭を設けなければならない。
2. 中心杭の根元には、地杭を地面と同高まで打込まなければならない。  
もし、既設道路改良等の測量、障害物又は岩石等のため、所定の位置に打込むことができない場合は、控杭を設け定位置を正確に測定し得るようにしておかなければならない。

#### 第8条 中心杭の設定及び曲線の設置

1. 半径の決定は、前後曲線の接続の関係、曲線中央M. C点の位置、縦断勾配との関係等を考慮し、制限以内の曲線で地形に適合したもので定めなければならない。現地には、始曲点B. C、曲線の中央M. C、終曲点E. Cを設置するものとする。
2. 距離測定の許容誤差は、I. P間で20cm、各測点間においては10cm以下とする。

#### 第9条 比較線

比較線を測量するときは、本線との関係標識等について混同しない符号をつけなければならない。

#### 第10条 破 鎖

測量中にやむをえない理由で距離に増減(破鎖)を生じた場合は、図面及び野帳に明示しなければならない。

#### 第11条 縦断測量

1. 縦断測量には「レベル」を用い、中心杭の根元に打った地杭の頭の高低を測り、各測点の地盤高としなければならない。測標の単位はm以下2位までとする。
2. B. Mは、距離概ね500mごとに、あるいは、重要構造物附近、起点・終点附近等に堅固に設置するものとする。
3. B. M杭は、工事施工の場合支障を生じない位置、あるいは、その他の事情により損傷を生じない位置に設置しなければならない。
4. B. M杭には、B. Mの番号、高さを表示しなければならない。

5. B. Mの高さは、つとめて標高を用い、やむを得ない時は、仮定基準高を用いることができる。

6. 縦断測量の許容誤差は、500m程度につき往復差5cm以内とする。

#### 第12条 横断測量

1. 横断測量は、中心線に直角、また曲線内の点はその点と中心点を結ぶ線上の方向に、「ハンドレベル」又は「ボール」横断の方法により、その高低を10cm単位に測量し、中心杭からそれぞれ想定される法頭、法尻から少くとも2. 0m以上測らなければならない。
2. 横断測量は、設計上極めて重要な因子であるばかりでなく、測量誤差を生じやすいので、十分注意し入念正確に行うとともに製図後現地でこれを照合点検しなければならない。

#### 第13条 平面測量

1. 平面測量は、中心線に沿い平板又はオフセット法等によって、地形地物、土地境界、林班界、B. M等の位置関係を測量するものとする。
2. 測量の範囲は、特別の場合を除き中心線から両側へそれぞれ20m内外とするが、それ以上の河川(支流)家屋等は、その位置を図面に標示できるよう地形関係を「スケッチ」程度にとどめることができる。

#### 第14条 用地測量

用地測量については必要に応じて指示する。

#### 第15条 林道用地巾杭設置

巾杭は、1×3×80cm以上のものを使用し、頭部に白のビニールテープを巻き見やすくするものとする。

#### 調査事項仕様書

測量以外に設計上必要な事項について調査し、野帳に記録しなければならない。

#### 第16条 伐開除根等調査

横断図が完成したら、現地において各工種ごとに調査し、それぞれ区分して野帳に記録するとともに、土工数量計算表に記入集計する。区分については、別に定めるところによる。

#### 第17条 林道の障害物調査

林道の障害物となる電柱、電話線、家屋、その他の構造物について、その位置、所有の関係、数量等について調査記録するものとする。

#### 第18条 地質調査

各測点間の土量については、工事費に影響する重要な因子であるので十分調査し、測点ごとの土質区分に従い調査記録しなければならない。

この場合必要に応じ担当員の立会を求めることができる。

#### 第19条 構造物設置箇所の調査

1. 重要な構造物(橋梁・溝渠・栈道・コンクリート擁壁・大きなブロック積)又は特殊な構造物については、担当員の指示を受け、又は、同意を受けて計画し、必要なことを調査記録しなければならない。
2. 川又は流れのある箇所、湧水のおそれがある場合は、橋梁・開渠・暗渠等を設ける。長さ4. 0m以上は橋梁として調査設計する。
3. 橋梁について調査する事項
  - (1) 中心線と流水の角度及び方向
  - (2) 流水量及びH・W・L、L・W・L
  - (3) 橋台、橋脚の設置附近の地盤の状況
  - (4) 河川の縦断図、横断図
  - (5) 河川の管理者
  - (6) 橋の型式
  - (7) その他必要な事項
4. 開渠、暗渠について調査する事項
  - (1) 設置する位置、中心線との方向、角度、流水方向及び傾斜
  - (2) 集水面積、流水量
  - (3) 流水量と構造物の大きさとの関係
  - (4) 地盤、地質
  - (5) その他必要な事項
5. コンクリート擁壁又はブロック積について調査する事項
  - (1) 設置する位置、長さ及び高さ
  - (2) 地盤の状況
  - (3) 流水に接する場合は、その水深との関係(H・W・L)、(L・W・L)
  - (4) その他必要な事項

## 第20条 材料調査

工事材料として採取するものは、その採取位置、品質形状、数量、運搬距離及び運搬路の状況並びに、その所有者及び採取料金等について調査しなければならない。

## 設計内業仕様書

## 第21条 設計図の縮尺

図面の縮尺は、担当員が特に指示するほか次のとおりとする。

### 記

| 種 別     | 縮 尺              | 備 考          |
|---------|------------------|--------------|
| 平 面 図   | 1/1,000又は1/2,000 | 原則として1/1,000 |
| 縦断面図・横  | 1/1,000又は1/2,000 | 原則として1/1,000 |
| 同 上・縦   | 1/200            |              |
| 横 断 面 図 | 1/100            |              |
| 土工標準図   | 1/50             | (1/20～1/100) |
| 構 造 物 図 | 1/20 ～ 1/200     |              |
| その他 詳細図 | 1/10 ～ 1/50      |              |
| 用 地 図   | 1/500 ～ 1/1,000  | 市町村地積図等と同縮尺  |
| 位 置 図   | 1/50,000         | 地形図記入        |

## 第22条 平面図記載事項

- 中心線・起点・終点(◎印)、測点、曲線半径、BMを標示する。測点は100mごとに○印、番号、その他の測点は棒印(1)、IPは◎印とし、5点ごとに番号を記入する。
- 国有林界、林班界、行政区界、河川、流下方向
- 等高線(縮尺1/1000の場合は5mごと、1/2000の場合は10mごととし、地形により2mとすることができる。)
- 橋梁、栈道、開渠、暗渠の位置(引出線により番号、構造、長さ、径等記入)
- 工作物、水路、既設道路、河川、崩壊地、岩石地、建物、針広樹林、田畑等は記号(地形図参照)で表わす。
- 曲線設置表は次の要領で図面の余白に記載する。

| IPNo. | 距 離 | 方位又は<br>右 左 折 | I・A | R | T・L | S・L | C・L | 備 考 |
|-------|-----|---------------|-----|---|-----|-----|-----|-----|
|       |     |               |     |   |     |     |     |     |

- 方位、縮尺、凡例を記入する。

## 第23条 縦断面図記載事項

- 作図は、下段から、曲線、測点、距離、地盤高、計画高、切高、盛高、勾配を記入する。
- 必要な箇所に縦断曲線を記入する。
- 溝渠、その他工作物の名称、位置、型状、寸法、数量を引出線で記入する。
- 破鎖の位置及び距離の関係を記入する。

## 第24条 横断面図記載事項

- 路線の測点ごとに中心線、切高、盛高を記入する。
- 地盤線は、左・右計画に必要な幅から2m程度の余裕をとらなければならない。
- 測点における切高、盛高を記入し、その高さにより施工基面、路幅、側溝及び土工標準図に基づき、地形、地質に応じ計画線を描くものとする。  
この場合、土工の法勾配を図面に明記する。
- 溝渠を設ける箇所の横断面図には、実線(破線)でその形状を記載する。
- 横断面図測点番号横にB. C. M. C. E. C等を併記する。
- 切盛断面積、土羽長、ブロック積長等を記入する。

## 第25条 構造物図記載事項

- 構造物は、平面図、側面図、正面図、断面図等を画がき、必要に応じ、その細部の構造を理解できるよう詳細図を作り、寸法を明確に記載しなければならない。
- 橋台、橋脚、床掘等数量計算は、図面上で行い、余白に計算表を記入しておく。
- 保護板、支示板の形状寸法等記入する。

## 第26条 栈道は、橋梁に準じて作成する。

## 第27条 溝渠図は、種類、寸法の異なるごとに作成しなければならない。

暗渠は、覆土の厚さを明示する(暗渠、開渠の区分は覆土の厚さ30cm以上を暗渠として取扱う)

## 第28条 用地図記載事項

用地図は縮尺1/500～1/1,000とし、平面図にならいう作図する。(ただし、測点間を結ぶ線は引

かない)用地幅は、横断面図の測点の左・右計画線から原則として2mの余幅を標準とし、地形地物を考慮して決定する。地積の計算は、地番ごと、所有者別に三斜方により、余白に計算式を明記すること。

## 第29条 土工標準図

1. 路線の幅員、側溝関係を記入する。
2. 切土、盛土の法勾配を土質により記入する。
3. 伐開界を記入する。
4. ブロック積又はコンクリート擁壁、溝渠等は必要に応じて記入する。
5. 敷砂利の撒布巾を記入する。
6. その他必要に応じて作成する。

## 第30条 成果品の納入

調査設計の成果品として納入すべき図書は、次のとおりとする。

なお、電子媒体で2部納入すること。(九州森林管理局ホームページ内、公表事項「林道調査等業務電子納品ガイドライン」参照)

### 1. 保安林、普通林共通

| 品 名         | 部 数 | 備 考                    |
|-------------|-----|------------------------|
| 位 置 図       | 2   | 50,000分の1              |
| 平 面 図       | 2   |                        |
| 縦 断 面 図     | 2   |                        |
| 横 断 面 図     | 2   |                        |
| 残土処理場図面一式   | 2   | (横断面図、縦断面図、土捨て許容量計算書等) |
| 用 地 図       | 2   |                        |
| 橋 梁 図       | 2   |                        |
| 縦 断 計 算 表   | 2   | 指示による。                 |
| 平 面 野 帳     | 1   |                        |
| 縦 断 野 帳     | 1   |                        |
| 横 断 野 帳     | 1   |                        |
| 土工数量計算表     | 2   |                        |
| 調査設計報告書     | 2   | 工事費概算計算書を含む。           |
| 幅 員 表       | 2   |                        |
| 排水施設計画流量計算書 | 2   |                        |
| 集 水 区 域 図   | 2   |                        |
| 平 面 路 線 図   | 2   | 5,000分の1(線形図)          |
| 製 本         | 2   | 青写真                    |
| 現場試験成果表     | (2) | 舗装用等特殊な場合を除く。          |
| 写 真         | 2   |                        |
| 工種別数量内訳書    | 2   |                        |

## 2. 保安林

保安林の場合は、1.に示す成果品のほか、保安林解除及び作業協議手続用として次の成果品を必要とする。

| 品 名      | 部 数 | 備 考                          |
|----------|-----|------------------------------|
| 位 置 図    | 2   |                              |
| 調 査 地 図  | 2   |                              |
| 平 面 図    | 2   | 平面図は協議区域及び工種配置(特に代替施設)を明示する。 |
| 縦 断 面 図  | 2   |                              |
| 標 準 横断面図 | 2   |                              |
| 土工数量計算表  | 2   |                              |
| 用地面積計算表  | 2   |                              |

## 第31条 その他注意事項

調査設計にあたっては、次の事項に十分注意して行なわなければならない。

1. 調査設計に先立ち、森林整備課並びに森林管理署等と打合せ、必要に応じて関係市町村役場等と連絡するなど、遺憾のないよう十分注意しなければならない。
2. 測量のため国有地(林地)に立入る場合は、予め森林管理署長等又は森林官に申し出て指示をうけること。  
  
私有地については、当該森林管理署長等を通じ現地にに応じて、市町村、所有者、地上権者等と連絡を密にし、遺憾のないよう注意しなければならない。
3. 支障木伐開については、国有地にあつては森林官を経て森林管理署長等、私有地にあつては、その所有者等の了解を得て行わなければならない。
4. 伐開した物件の跡整理については、担当員の指示に従わなければならない。
5. 設計区域内に設けてある標識、境界標杭等を許可なく移動又は損傷してはならない。
6. 火気取締りについて十分注意し、山火事予防については、万全の処置をしなければならない。

## 第32条 工種区分及び数量計算

工種区分及び単位は、特別のものを除き、下表のとおりとする。

この表にないものについては、内容を明らかにして現地に適した、工種及び単位によることとする。

| 区 分   | 工 種         | 集計単位 |     | 計算単位 |     | 寸 法   |     |       |  |
|-------|-------------|------|-----|------|-----|-------|-----|-------|--|
|       |             | 単 位  | 小数位 | 単 位  | 小数位 | 表 示 別 | 単 位 | 小 数 位 |  |
| 切土工   | 延 長         | m    | 単位止 | m    | 1 位 | 長     | m   | 1 位   |  |
|       | 幅 員         | m    | 1 位 | m    | 1 位 | 長     | m   | 1 位   |  |
|       | 砂・砂質土切土     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 粘性土切土       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 礫質土切土       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 岩塊・玉石切土     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 軟岩 (I) A 切土 | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 軟岩 (I) B 切土 | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 軟岩 (II) 切土  | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 中硬岩切土       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 硬岩 (I) 切土   | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 硬岩 (II) 切土  | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
| 盛土工   | 流用盛土        | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 運搬盛土○○m     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 純盛土         | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 埋戻工 (C)     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 埋戻工 (D)     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
| 床掘工   | 砂・砂質土床掘     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 粘性土床掘       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 礫質土床掘       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 岩塊・玉石床掘     | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 軟岩 (I) A 床掘 | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 軟岩 (I) B 床掘 | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 軟岩 (II) 床掘  | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 残土処理        | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
| 擁壁工   | 運搬残土処理○○m   | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | コンクリートブロック積 | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
|       | 同上コンクリート基礎  | m    | 1 位 | m    | 2 位 | 延長    | m   | 2 位   |  |
|       | コンクリート壁     | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | コンクリート擁壁    | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 鉄筋コンクリート擁壁  | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 井桁ブロック擁壁工   | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
|       | L型プレキャスト擁壁工 | m    | 単位止 | m    | 1 位 | 延長    | m   | 1 位   |  |
|       | 砕石擁壁工       | m³   | 1 位 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 補強土壁工       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 鋼製L型擁壁      | m³   | 単位止 | m    | 1 位 | 延長    | m   | 1 位   |  |
|       | T型ブロック擁壁工   | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | かご枠工        | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 転石積         | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
|       | 転石練積工       | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
|       | コンクリート土のう積工 | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
|       | ウッドブロック積    | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 張石工         | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
| 路盤工   | 上層路盤工       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 下層路盤工       | m³   | 単位止 | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
| 舗装工   | アスファルト舗装    | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
|       | コンクリート舗装工   | m³   | 1 位 | m³   | 2 位 | 延長・法長 | m   | 2 位   |  |
| 法面保護工 | 土羽打工        | m³   | 1 位 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | むしろ張工       | m³   | 1 位 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 筋芝工         | m³   | 1 位 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 張芝工         | m³   | 1 位 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 種子吹付工       | m³   | 1 位 | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |

| 区 分   | 工 種            | 集計単位 |      | 計算単位 |     | 寸 法   |     |       |  |
|-------|----------------|------|------|------|-----|-------|-----|-------|--|
|       |                | 単 位  | 小数位  | 単 位  | 小数位 | 表 示 別 | 単 位 | 小 数 位 |  |
| 法面保護工 | モルタル吹付工        | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 木製法枠工          | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 特殊モルタル吹付工      | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 植生基材吹付工        | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 客土吹付工          | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 現場吹付法枠工        | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 現場打法枠工         | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 簡易法枠工          | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
|       | 編柵工            | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 高・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 木柵工            | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 高・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 丸太法面保護工        | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 高・長   | m   | 1 位   |  |
| かご工   | 布団かご工          | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 二重布団かご工        | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 蛇かご工           | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
| 防護施設工 | 駒止ブロック         | 個    | 単位止  | 個    | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | ガードレール         | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 高・長   | m   | 1 位   |  |
|       | ガードウッド         | m    | 単位止  | m    | 1 位 | 高・長   | m   | 1 位   |  |
|       | ガードレールコンクリート基礎 | m³   | 1 位  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 落石防護柵          | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 高・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 落石防止柵          | m³   | 単位止  | m³   | 1 位 | 延長・法長 | m   | 1 位   |  |
| 標識工   | カーブミラー         | 本    | 単位止  | 本    | 単位止 | 径     | m   | 1 位   |  |
|       | 林道施設表示板C       | 箇所   | 単位止  | 箇所   | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
| 排水施設工 | ヒューム管          | m    | 1 位  | m    | 2 位 | 径・長   | m   | 2 位   |  |
|       | 同上コンクリート基礎     | m³   | 1 位  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | コルゲートパイプ       | m    | 1 位  | m    | 2 位 | 厚・径・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 合成樹脂管          | m    | 1 位  | m    | 2 位 | 厚・径・長 | m   | 2 位   |  |
|       | ボックスカルバート      | m    | 1 位  | m    | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 鉄筋コンクリートU型溝    | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 鉄筋コンクリートL型溝    | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 鉄筋コンクリート横断溝    | m    | 1 位止 | m    | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | コンクリート路面舗装     | m³   | 1 位止 | m³   | 2 位 | 幅・厚・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 横断溝踏切版         | 箇所   | 単位止  | 箇所   | 単位止 | 幅・厚・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 木製横断溝          | 箇所   | 単位止  | 箇所   | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 溝渠保護柵          | 箇所   | 単位止  | 箇所   | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 溝渠吐口保護工        | 箇所   | 単位止  | 箇所   | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 暗渠排水管          | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 径・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 暗渠排水丸太溝        | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 径・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 暗渠排水溝          | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 径・長   | m   | 1 位   |  |
|       | コルゲートフリューム     | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 厚・径・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 呑口張コンクリート      | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 植生土のう水路工       | m    | 1 位  | m    | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位   |  |
|       | 集水柵            | 箇所   | 単位止  | 箇所   | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
| 橋梁工   | 上部構造           | 式    | 単位止  | 式    | 単位止 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 床版コンクリート       | m³   | 1 位  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 橋台コンクリート       | m³   | 1 位  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 橋脚コンクリート       | m³   | 1 位  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 鉄筋加工組立         | t    | 3 位  | t    | 3 位 | 径・長   | m   | 2 位   |  |
|       | 橋台床掘           | m³   | 1 位  | m³   | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位   |  |
|       | 取り壊し           | 式    | 単位止  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 木橋架設           | 式    | 単位止  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 木橋脚柱組立         | 組    | 単位止  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |
|       | 木橋取り壊し         | 式    | 単位止  | m³   | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位   |  |

| 区 分        | 工 種       | 集 計 単 位 |     | 計 算 単 位 |     | 寸 法   |     |     |
|------------|-----------|---------|-----|---------|-----|-------|-----|-----|
|            |           | 単 位     | 小数位 | 単 位     | 小数位 | 表 示 別 | 単 位 | 小数位 |
| 橋梁工        | 橋梁塗装工     | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位 |
| 伐開除根<br>整理 | 1 種伐開     | 式       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
|            | 2 種伐開     |         | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
|            | 1 種除根     |         | 単位止 | 本       | 単位止 | 幅・長   | 本   | 単位止 |
|            | 2 種除根     |         | 単位止 | 本       | 単位止 | 幅・長   | 本   | 単位止 |
|            | 3 種除根     |         | 単位止 | 本       | 単位止 | 幅・長   | 本   | 単位止 |
|            | 1 種整理     |         | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
|            | 2 種整理     |         | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
|            | チェーンソー伐開  |         | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
| アン<br>カー工  | 削孔        | m       | 単位止 | m       | 単位止 | 径・長   | m   | 単位止 |
|            | アンカー材     | m       | 2 位 | m       | 2 位 | 長     | m   | 2 位 |
|            | グラウト材     | m       | 1 位 | m       | 2 位 | 幅・長   | m   | 2 位 |
| 現道補修       | 現道補修      | 式       | 1 位 | km      | 1 位 | 幅・長   | km  | 1 位 |
| 資材類        | 裏込材       | m       | 1 位 | m       | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位 |
|            | 基礎栗石      | m       | 1 位 | m       | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位 |
|            | 基床材       | m       | 1 位 | m       | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位 |
|            | コンクリート類   | m       | 1 位 | m       | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位 |
|            | 鉄筋加工組立    | t       | 3 位 | t       | 3 位 | 径・長   | m   | 2 位 |
|            | 素材        | m       | 3 位 | m       | 3 位 | 径・長   | m   | 2 位 |
|            | 製材        | m       | 3 位 | m       | 3 位 | 幅・厚・長 | m   | 2 位 |
|            | 金物        | kg      | 単位止 | kg      | 2 位 | 径・長   | m   | 2 位 |
|            | セメント      | t       | 3 位 | t       | 3 位 |       |     |     |
|            | エラストイト    | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・厚・長 | m   | 1 位 |
|            | アスファルト合材  | t       | 2 位 | t       | 2 位 |       | t   | 2 位 |
|            | 路盤材       | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
|            | 乳剤        | ℓ       | 単位止 | ℓ       | 単位止 |       |     |     |
|            | ルーフィング    | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・長   | m   | 1 位 |
| 仮設工        | 型枠工       | m       | 1 位 | m       | 2 位 | 幅・高・長 | m   | 2 位 |
|            | 足場工（単管傾斜） | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位 |
|            | 足場工（枠組）   | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位 |
|            | 支保工       | 空m      | 単位止 | 空m      | 1 位 | 幅・高・長 | m   | 1 位 |
|            | 仮締切工      | m       | 単位止 | m       | 1 位 | 長・高   | m   | 1 位 |

### 第33条 土質区分

| 土 質      | 単位 | 記号 | 分 類                                                                                | テストハンマーの<br>参考値 |
|----------|----|----|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 砂・砂質土    | m3 | S1 | 砂、砂質土、普通土、砂質ローム                                                                    |                 |
| 粘 性 土    | "  | S2 | 粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土<br>粘土質ローム、火山灰質粘性土、有機質土                                        |                 |
| 礫 質 土    | "  | S3 | 礫まじり土、砂利まじり土、礫                                                                     |                 |
| 岩塊、玉石    | "  | S4 | 岩塊、玉石まじり土、破碎岩                                                                      |                 |
| 軟岩 I (A) | "  | R1 | ○第3紀の岩石で固結程度が弱いもの、風化がはなはだしく、極めてもろいもの。<br>○指先で離しうる程度のもので、亀裂間の間隔は 1～5センチメートル位のもの。    | 15～30           |
| 軟岩 I (B) | "  | R1 | ○第3紀の岩石で固結程度が良好なもの、風化が相当進み、多少変色を伴い軽い打撃により容易に割り得るもの、離れ易いもの、亀裂間の間隔は5～10センチメートル程度のもの。 |                 |

|         |    |    |                                                                                                    |       |
|---------|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 軟岩(Ⅱ)   | m3 | R2 | ○凝灰質で固結しているもの、風化は目に沿って相当進んでいるもの、亀裂間の間隔は10～30センチメートル程度で軽い打撃により離しうる程度、異種の岩が硬い互層をなしているもので層面を楽に離しうるもの。 | 30～50 |
| 中 硬 岩   | "  | R3 | ○石灰岩、多孔質安山岩のようにち密でないが、相当の硬さを有するもの、風化の程度があまり進んでいないもの、硬い岩質で間隔が30～50センチメートル程度の亀裂を有するもの。               | 50～70 |
| 硬 岩 (Ⅰ) | "  | R4 | ○花崗岩、結晶岩など全く変化していないもの、亀裂間の間隔は1メートル内外で相当密着しているもの、硬い良好な石材を取り得るようなもの。                                 | 70以上  |
| 硬 岩 (Ⅱ) | "  | R5 | ○けい岩、角岩などの石英質に富んで岩質が硬いもの、風化していない新鮮な状態のもの、亀裂が少なくよく密着しているもの。                                         |       |

注1、岩の区分は、亀裂とその間隔、風化の度合い、目の流れの方向、作業の難易性、火薬の使用量、断面の大小等と、テストハンマーの結果を総合的に勘案して判定するものとする。

注2、礫まじり土、玉石まじり土とは、礫、玉石の混合率が概ね30パーセント以上のものをいう。

### 第34条 盛土・残土処理

- 1、流用盛土の区切線は、起点から最長20m以内ごとに区切る。
- 2、現場内での自動車運搬費の計算に使用する距離は、実距離(20mきざみ)を使用する。
- 3、運搬残土処理の場合は、加重平均して運搬距離を決定する。